

101-196

問題文

- | | |
|-----------------------|------|
| 1. アミノグリコシド系抗生物質 | 0次反応 |
| 2. β -ラクタム系抗生物質 | 0次反応 |
| 3. アミノグリコシド系抗生物質 | 1次反応 |
| 4. β -ラクタム系抗生物質 | 1次反応 |
| 5. アミノグリコシド系抗生物質 | 2次反応 |
| 6. β -ラクタム系抗生物質 | 2次反応 |

この問題は、図が不適切という理由から「解なし」となった問題です。

解答

問196 : 3問197 : 解なし

解説

問196

アルベカシンは、アミノグリコシド系抗生物質の一種です。 **アミノグリコシド系抗生物質は濃度依存性** の抗菌薬です。時間に依存するわけではないので一回の投与で濃度をぐっとあげるのが望ましい使用法です。そのため、1日「1回」となっている選択肢 1～3 が正解の候補です。

そして、1回あたりの量と注射にどれくらい時間をかけるかは知っていないとどうしようもないかなと思います。MRSA に対する代表的な薬剤なので詳しく覚えておいてほしい という意図が感じられます。正解は 3 です。

類題

問197

解なしのため、解説なし。